

カレンダー

カレンダーを利用する

カレンダーをスケジュール、1日、1週間、1ヶ月、1年で表示することができます。

- カレンダーの利用にはGoogleアカウントが必要です。Googleアカウント設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。Googleアカウントの設定については、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。

1 ホーム画面→[ツール]→[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。

- 説明画面が表示されたら、画面の指示に従って操作してください。



memo

◎ カレンダー画面→[月]→[年]／[月]／[週]／[日]／[予定リスト]と操作すると、カレンダーの表示を切り替えることができます。

カレンダーのメニューを利用する

1 カレンダー画面→[メニュー]

2 予定を作成	▶P.49「予定を新規登録する」
今日に戻る	カレンダーを当日に移動します。
検索	予定を検索します。
更新	同期しているカレンダーを更新します。
表示するカレンダー	同期するカレンダーを選択します。
設定	▶P.49「カレンダーを設定する」

予定を新規登録する

1 カレンダー画面→[メニュー]→[予定を作成]

新規作成画面が表示されます。

2 必要な項目を入力

3 [完了]

カレンダーを設定する

週の開始日やタイムゾーン、バイブレーションなどを設定します。

1 カレンダー画面→[メニュー]→[設定]→[全般設定]

2 変更する項目を選択

時計

アラームを利用する

指定した時刻をアラーム音やバイブレータでお知らせできます。

1 ホーム画面→[アラーム]

アラーム一覧画面が表示されます。

- 説明画面が表示されたら、画面の指示に従って操作してください。

2 登録先の時刻をタップ

登録先を追加するには、[メニュー]→[追加]をタップしてください。

3 時刻を設定→[OK]

- 設定済みのアラームを編集する場合は、編集するアラームの空白部分または「詳細」をタップし、変更する項目を選択します。

4 繰り返し	アラームの繰り返しを曜日で指定します。 • 平日(土日、日本の祝日以外)のみアラームを鳴動させる場合は「平日」を選択します。
アラーム音	アラーム音を設定します。「なし」に設定すると「マナーモード」になります。
バイブレーション	アラーム音と同時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
スヌーズ	スヌーズを利用するかどうかや、スヌーズの間隔を設定します。
アラーム名追加	名称を設定します。

5 [ON]／[OFF]



memo

- ◎ アラームを設定した時刻になると、アラーム音やバイブレータが設定時間の間鳴動し、アラーム名が表示されます。
- ◎ 通話中にアラームが起動した場合、受話口(レシーバー)からアラームを知らせる割込音が鳴ります。
- ◎ アラームを停止する場合は、「止める」をタップするか「スヌーズ」をタップします。
- ◎ 電源が入っていない場合は、アラームは鳴りません。

アラームを削除する

1 アラーム一覧画面→削除するアラームの「詳細」をタップ

2 [削除]

アラームの設定をする

1 アラーム一覧画面→[メニュー]→[設定]

2 アラーム優先	マナーモード設定中にアラーム音を鳴動するかどうかを設定します。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
アラーム鳴動時間	アラーム音やバイブレータが停止するまでの時間を設定します。
ボタン動作	アラーム鳴動時に[電話ボタン]／[ホームボタン]／[音量上ボタン]／[音量下ボタン]を押した場合の動作を設定します。
デフォルトのアラーム音	「プリセット」／「サウンド」をタップするとアラーム音を一覧から選択できます。 「サイレント」を選択すると、アラーム音は鳴りません。
週の始まり	週の始まりの曜日を選択します。

タイマーを利用する

指定した時間をタイマー音でお知らせできます。

1 ホーム画面→[ツール]→[タイマー]

タイマー画面が表示されます。

- ・「+10分」、「+1分」、「+10秒」をタップすると、設定済みの時間を増やすことができます。
- ・「0秒に戻す」をタップすると、設定済みの時間が0秒になります。
- ・[メニュー]→[設定]をタップすると、タイマーの設定画面が表示され、マナーモード設定中にタイマーを優先するかどうかなどを設定できます。

2 時間をタップ

3 時間を入力→[OK]→[スタート]

カウントダウンが始まります。カウントダウンが終了すると、タイマー音が鳴ります。「止める」をタップするとタイマー音は止まります。「+10分」、「+1分」、「+10秒」をタップすると、時間を増やしてカウントダウンを再開できます。また、タイマーを途中で停止する場合は「一時停止」をタップします。「スタート」をタップするとカウントダウンを再開します。「最初から」をタップするとカウントダウンをリセットします。

ストップウォッチを利用する

1 ホーム画面→[ツール]→[ストップウォッチ]

ストップウォッチ画面が表示されます。

2 [スタート]

時間計測が始まります。



memo

- ◎ 計測を一時停止する場合は「ストップ」をタップし、再開する場合は「スタート」をタップします。「リセット」をタップすると、計測をリセットします。
- ◎ ラップタイムを計測する場合は、「ラップ」をタップします。

世界時計を利用する

複数の都市を登録して、日付・時刻を確認できます。

1 ホーム画面→[ツール]→[世界時計]

世界時計画面が表示されます。

- ・[メニュー]→[設定]と操作すると、世界時計の設定画面が表示され、表示スタイルや自宅タイムゾーンなどを設定できます。

2 [メニュー]→[都市追加]

世界時計の都市選択画面が表示されます。

- ・[メニュー]→[並び順－時間]／[並び順－名前]と操作すると、時間順／名前順に並べ替えて選択することもできます。

3 登録する都市を選択→[←]

- ・「全ての地域」をタップして地域を選択すると、選択した地域が表示されます。
- ・「国と都市を全て表示」にチェックを入れると、全ての国と都市を表示します。



memo

- ◎ 登録した都市を削除する場合は、[メニュー]→[都市追加]→選択した都市のチェックを外します。

歩数計

歩数計を利用する

歩数や消費カロリー、目標歩数の設定などができます。

1 ホーム画面→[歩数計]

歩数計画面が表示されます。



memo

- ◎ 「データの初期化」(▶P.50)を利用すると、歩数データをリセットできます。
- ◎ 次のような場合、正確に歩行を測定できないことがあります。
 - ・本製品が不規則に動くとき
 - 体に当たってはねるかばんの中など
 - 首や腰、かばんからぶら下げたとき
 - ・不規則な歩行をしたとき
 - すり足歩行、サンダル、草履などの履物での歩行
 - 混雑した街を歩くなどの歩行の乱れ
 - ・水辺や水中などでの歩行
 - ・上下運動や振動の多い所で使用したとき
 - 立ったり、座ったりする動作
 - 歩行以外のスポーツ
 - 階段や急斜面の昇り降り
 - 乗り物(自転車、自動車、電車、バスなど)に乗車中の振動
- ◎ 振動する台の上や連続する振動が伝わるような場所に置くと、歩数としてカウントされる場合があります。
- ◎ 歩き始めは歩行かどうかの判断を行うため、10歩程度(5秒以上)の歩行を検出するまで、カウントを始めません。カウント開始時に、それまでに取得した歩数も合わせて表示します。
- ◎ 日付が変更されると、前日までのデータを記録し、歩数カウントをゼロから開始します。
- ◎ 測定した歩数や歩行距離、移動手袋別時間の記録、消費カロリーはあくまで目安です。基礎代謝量は含みません。

歩数計を設定する

1 歩数計画面→[メニュー]→[設定]

歩数計設定画面が表示されます。

2	歩数計	歩数計のオン／オフを設定します。
	歩数計通知	前日の歩数を指定した連絡先へ通知するかどうかを設定します。
	プロフィール設定	身長、体重などを設定します。
	目標設定	歩数・消費カロリーの目標を設定します。
	お知らせ通知	目標達成をお知らせするかどうかを設定します。
	表示形式	歩数計の表示形式を設定します。 「東海道五十三次」を設定すると、東海道五十三次の行程を使用して、歩数計で測定した結果を元に日本橋からゴールの京師を目指して旅をすることができます。歩数に応じて歌川広重の東海道五十三次の浮世絵を手に入れることができます。
	データの初期化	すべてのデータや設定をリセットします。

電卓

電卓を利用する

電卓を利用できます。

1 ホーム画面→[ツール]→[電卓]

電卓画面が表示されます。

「AC」:計算結果を消去します。

「DEL」:最後に入力した数字／記号を消去します。

メモ帳

メモ帳を利用する

- 1 ホーム画面→[ツール]→[メモ帳]
メモ一覧画面が表示されます。
・「検索」をタップして検索ワードを入力すると登録したメモを検索できます。
- 2 [新規作成]→タイトルとメモを入力→[保存]
メモが保存されます。

メモを確認／編集する

- 1 メモ一覧画面→メモをタップ
メモ詳細画面が表示されます。
タイトルまたはメモをタップするとメモ入力画面に切り替わり、タイトルやメモを編集できます。
・メモ詳細画面で「メニュー」をタップすると、メモの削除や共有、カラーの設定を行えます。



◎ メモ詳細画面の電話番号／メールアドレス／URLをタップすると、発信、SMSの作成、メールの作成、インターネットでサイトの表示などが行えます。

メモを選択して削除する

- 1 メモ一覧画面→[メニュー]→[削除]
- 2 削除するメモを選択→[OK]→[OK]

音声レコーダー

音声レコーダーを利用する

- 1 ホーム画面→[ツール]→[音声レコーダー]
音声レコーダー画面が表示されます。
- 2 [録音]
録音が始まります。
- 3 [停止]
録音が停止され、録音した音声は保存されます。
・「一時停止」をタップすると録音を一時停止することができます。録音を再開する場合は「録音」をタップしてください。
・録音を停止すると再生画面が表示され、「再生」をタップすると録音した音声を再生して確認できます。
・音声レコーダー画面→[メニュー]→[ファイル形式]／[保存先]と操作すると、録音した音声データの録音ファイル形式や保存先を設定できます。



◎ Bluetooth®機能で接続しているマイクから録音することはできません。本製品の送話口(マイク)で録音してください。

音声を再生する

- 1 音声レコーダー画面→[録音データ一覧]
音声データ一覧画面が表示されます。
・音声データ一覧画面→[メニュー]→[削除]と操作すると、音声データを削除することができます。
- 2 音声データをタップ
再生画面が表示され、音声の再生が始まります。
・再生画面の「メニュー」をタップすると、音声データの削除や名称変更、共有、詳細情報の表示を行うことができます。
・再生画面で再生中／一時停止中に「巻き戻し」／「早送り」をタップすると、再生の巻き戻し／早送りができます。



◎ ホーム画面→[Google]→[Files]→[音声]→音声データをタップしても音声を再生することができます。

音声データを選択して削除する

- 1 音声データ一覧画面→[メニュー]→[削除]
- 2 削除する音声データを選択→[OK]→[OK]
・[すべて選択]→[OK]→[OK]と操作すると、すべての音声データを削除することができます。

ライト

ライトを利用する

ライトを利用できます。

- 1 ホーム画面→[ツール]→[ライト]
ライト画面が表示されます。
- 2 [ON]／[OFF]
ライトが点灯／消灯します。



memo

- ◎ ライトを目に近づけて点灯させないでください。また、ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様にライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- ◎ カメラ起動中は使用できません。
- ◎ ご使用時は電池の減りにご注意ください。

テレビde写真

テレビde写真を利用する

「テレビde写真受信機(別売)」をテレビに接続すると、本製品に保存されている写真などをワイヤレスでテレビに映すことができます。

- 1 テレビde写真受信機(別売)をテレビに接続
・詳細はテレビde写真受信機(別売)の取扱説明書を参照してください。
- 2 テレビに映したい画面を本製品で表示
・ホーム画面で[写真／動画]→[写真／動画]→映したい画面をタップして表示します。
- 3 [メニュー]→[テレビde写真]
・「メニュー」が表示されていない場合は、画面をタップすると表示されます。
- 4 [映す]
・[使い方のご説明]／[機能のご紹介]と操作すると、テレビde写真のガイドを確認することができます。
- 5 接続先をタップ→[OK]→[写真へ遷移]→[OK]
・ホーム画面で[テレビde写真]または通知パネルで[テレビde写真]をタップしてもテレビde写真を起動できます。
・もう一度、「テレビde写真」をタップすると、接続の切断、接続先の変更ができます。



memo

- ◎ Miracastに対応した受信機とHDMI入力端子付きテレビでも本機能をご利用になれます。
※ 受信機によっては利用できない場合があります。
- ◎ テレビde写真受信機(別売)接続中は、本製品から音量調整できない場合があります。

スマホの健康診断

スマホの健康診断を利用する

本製品の状態を確認する「スマホの健康診断」を利用します。

- 1 ホーム画面→[サポート]→[スマホ健康診断]
スマホの健康診断画面が表示されます。
- 2 [診察]
診断が始まります。特に問題がなければ、「異常なし」と表示されます。「健康診断を終了する」をタップしてください。
- 3 気になる症状をタップ→[解決する]
治療を開始します。治療が完了すると「処置しました」と表示されるか、症状の原因が表示されます。
他の症状を治療したい場合は「他の症状を治す」を、診断を終了する場合は「健康診断を終了する」をタップしてください。
「治療」が表示されずに、原因と対処方法が表示される場合もあります。



memo

- ◎ 「スマホの健康診断」アプリの利用に際し、費用は発生しません。ただし、データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。

使い方練習

使い方練習を利用する

本製品の基本操作を練習することができます。

1 ホーム画面→[使い方練習]

使い方練習画面が表示されます。

- ・初めて起動したときは説明画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- ・プライバシーポリシーの確認画面が表示されたときは「同意する」をタップしてください。

2 [練習を始める]→[はじめから]またはレッスン項目を選択

以降は画面の指示に従って[]の基本操作を練習してください。

■ レッスン項目

- ・画面操作
- ・文字入力
- ・電話
- ・+メッセージ(SMS)
- ・[]メール
- ・写真
- ・インターネット
- ・地図

※ レッソンの項目や内容は予告なく変更されることがあります。

ファイル管理

ファイル管理	54
本製品の保存領域について	54
microSDメモリカードを利用する	54
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す	54
USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと接続する	55
メモリの使用量を確認する	55
microSDメモリカードを初期化する	55
Files	55
Filesを利用する	55

ファイル管理

本製品の保存領域について

本製品は、本体メモリ(内部ストレージ、内部共有ストレージ)とmicroSDメモリカード(SDカード)にデータを保存することができます。

本体メモリ	アプリや各アプリが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
microSDメモリカード	メディアファイルなどを保存します。



◎ アプリによってはmicroSDメモリカードに保存するメニューやメッセージが表示されても、本体メモリに保存される場合があります。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む)を本製品に取り付けることにより、データを保存/移動/コピーすることができます。

また、microSDメモリカードを、内部ストレージとして使用することもできます。



◎ 他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品で初期化してください。初期化する方法については、「microSDメモリカードを初期化する」(▶P.55)をご参照ください。

◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動/コピーは行っても本製品で再生できない場合があります。

◎ microSDXCメモリカードはSDXC対応機器でのみ使用いただけます。万一、SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモリカードを差し込んだ場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットはしないでください。

SDXC非対応の機器でmicroSDXCメモリカードをフォーマットした場合、microSDXCカードからデータが失われ、異なるファイルシステムに書き換えられます。また、microSDXCメモリカード本来の容量で使用できなくなることがあります。

■ 取扱上のご注意

- ・microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- ・microSDメモリカードを取り付けている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えたりしないでください。記録したデータが壊れる(消去される)ことがあります。
- ・microSDメモリカードスロットには、液体、金属片、燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ・本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、**■**ホームページをご参照ください。

■ microSDメモリカードを内部ストレージとして使用する

microSDメモリカードを内部ストレージとして使用できます。

- 1 ホーム画面→[設定]→[その他]→[ストレージ]→[SDカード]
- 2 [⋮]→[ストレージの設定]→[内部ストレージとしてフォーマット]

確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

■ microSDメモリカードを内部ストレージとして使用するときのご注意

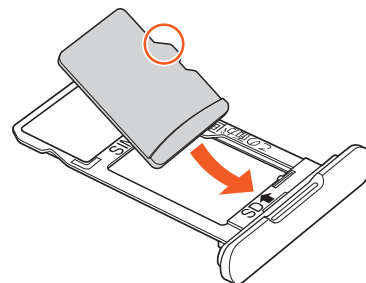
- ・本製品から取り外すと、再度挿入するまで保存されているデータ(アプリや写真など)が使用できなくなります。
- ・外部ストレージ化や本製品以外の機器での使用には、再度microSDメモリカードのフォーマット(初期化)が必要です。
- ・本製品の初期化や修理交換を行った場合、保存されているデータの読み書きができなくなります。

microSDメモリカードを取り付ける/取り外す

microSDメモリカードの取り付け/取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

microSDメモリカードを取り付ける

- 1 **■**ICカード/microSDメモリカードトレイを、**■**ICカード/microSDメモリカードトレイのミゾに指先をかけて、まっすぐに引き出す(▶P.17)
- 2 microSDメモリカードの端子(金属)面を下にして**■**ICカード/microSDメモリカードトレイにはめ込む
■ICカード/microSDメモリカードトレイのツメの破損を防ぐため、microSDメモリカードを矢印の方向にすべり込ませるように取り付けてください。
・microSDメモリカードが**■**ICカード/microSDメモリカードトレイから浮かないように、はめ込んでください。



- 3 **■**ICカード/microSDメモリカードトレイを本体に差し込んで、奥までまっすぐ押し込む(▶P.17)

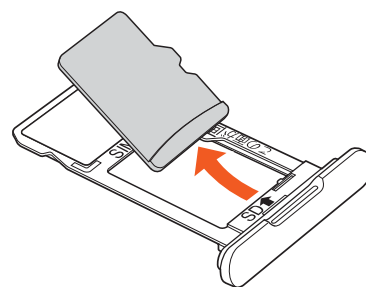


memo
◎ microSDメモリカードには、表裏/前後の区別があります。
無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損したりするおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードを取り外す場合は、データが壊れる(消去される)ことを防ぐため、必ず以下の操作でマウント解除動作を行ってください。

- 1 ホーム画面→[設定]→[その他]→[ストレージ]→[SDカード]の[取り外し]
- 2 **■**ICカード/microSDメモリカードトレイを、**■**ICカード/microSDメモリカードトレイのミゾに指先をかけて、まっすぐに引き出す(▶P.17)
- 3 microSDメモリカードを**■**ICカード/microSDメモリカードトレイから取り外す



- 4 **■**ICカード/microSDメモリカードトレイを本体に差し込んで、奥までまっすぐ押し込む(▶P.17)

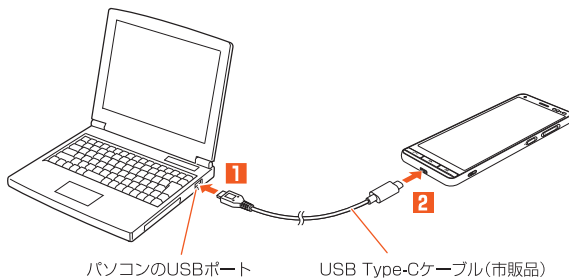


memo
◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと接続する

本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続すると、本製品の内部ストレージ、microSDメモリカード内のデータを読み書きできます。また、音楽／動画データの転送も可能です。

- 1 パソコンが完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル(市販品)をパソコンのUSBポートに接続
- 2 本製品が完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込む
USB Type-Cプラグは表裏どちらの向きでも差し込むことができます。



■ 内部ストレージやmicroSDメモリカード内のデータをパソコンで操作する

・あらかじめパソコンと本製品を接続してください。

- 1 パソコンから本製品を開く
内部ストレージを操作する場合は、「内部共有ストレージ」を開いてください。
- 2 パソコンを操作してデータを転送
- 3 転送終了後、USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品から取り外す
USB Type-Cケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜いてください。

メモリの使用量を確認する

内部ストレージ、microSDメモリカードの合計容量や空き容量を確認できます。

- 1 ホーム画面→[設定]→[その他]→[ストレージ]
 - 2
- | | |
|-----------|----------------------------------|
| 内部共有ストレージ | 内部ストレージの合計容量／空き容量が確認できます。 |
| SDカード | microSDメモリカードの合計容量／空き容量が確認できます。* |

※ メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。

microSDメモリカードを初期化する

microSDメモリカードを初期化すると、microSDメモリカードに保存されているデータ(アプリを含む)はすべて削除されます。

- 1 ホーム画面→[設定]→[その他]→[ストレージ]
- 2 [SDカード]→[:]→[ストレージの設定]→[フォーマット]
- 3 [SDカードをフォーマット]→[OK]



memo

◎ 初期化は充電しながら行うか、内蔵電池が十分に充電された状態で行ってください。

Files

Filesを利用する

「Files」を利用してデータのコピー／移動などができます。

本体内のファイルをmicroSDメモリカードにコピー／移動する

- 1 ホーム画面→[Google]→[Files]
- 2 [内部ストレージ]→フォルダを選択
- 3 コピー／移動するファイルの「▼」をタップ→[移動]／[コピー]
- 4 microSDメモリカードを選択
- 5 任意の場所で[ここにコピー]／[ここに移動]

microSDメモリカード内のファイルを本体にコピー／移動する

- 1 ホーム画面→[Google]→[Files]
- 2 microSDメモリカードを選択→フォルダを選択
- 3 コピー／移動するファイルの「▼」をタップ→[移動]／[コピー]
- 4 [内部ストレージ]
- 5 任意の場所で[ここにコピー]／[ここに移動]

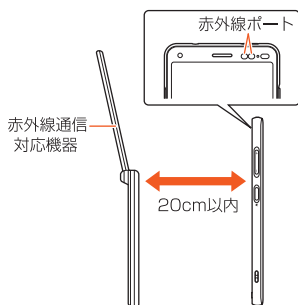
データ通信

赤外線通信	58
赤外線の利用について	58
赤外線でデータを受信する	58
赤外線でデータを送信する	58
Bluetooth[®]機能	58
Bluetooth [®] 機能について	58
Bluetooth [®] 機能をオンにする	58
Bluetooth [®] 機器を登録する	58
Bluetooth [®] 機能でデータを送受信する	59
無線LAN(Wi-Fi[®])機能	59
無線LAN(Wi-Fi [®])機能について	59
Wi-Fi [®] 機能をオンにする	59
Wi-Fi [®] ネットワークに接続する	59
Wi-Fi [®] 機能を切断する	59
Wi-Fi [®] 機能の詳細設定をする	59
Wi-Fi Direct [®] を設定する	60
テザリング機能	60
テザリングについて	60
USBテザリング機能を利用する	60
Wi-Fi [®] テザリング機能を利用する	60
Bluetooth [®] テザリング機能を利用する	60

赤外線通信

赤外線の利用について

赤外線通信距離は20cm以内でご利用ください。
また、データの送受信が終わるまで、赤外線ポート部分を、相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。



赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備する必要があります。受ける側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。



memo

- ◎ 赤外線通信中に指などで赤外線ポートを覆わないようにしてください。
- ◎ 本製品の赤外線通信は、IrMCバージョン1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMCバージョン1.1に準拠していても、機能によって正しく送受信できないデータがあります。
- ◎ 直射日光があたる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- ◎ 赤外線ポートが汚れていると、正常に通信できない場合があります。柔らかな布で赤外線ポートを拭いてください。
- ◎ 送受信時に認証パスワードの入力が必要になる場合があります。認証パスワードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。

赤外線でデータを受信する

- 1 ホーム画面→[ツール]→[赤外線]**
赤外線画面が表示されます。
 - 2 [データを受信]**
認証コードの入力画面が表示された場合は、認証コード(4桁)を入力→[OK]と操作してください。
 - 3 受信完了→[OK]**
受信したデータは、赤外線画面で「受信データの確認」をタップすると確認できます。
- 電話帳やプロフィールのvCardファイルを受信した場合
- 3 受信完了→[OK]→[OK]**
「登録先」メニューが表示された場合は、登録するアカウントを選択してください。



memo

- ◎ データの種類、容量によっては保存できない場合があります。

赤外線でデータを送信する

- 1 ホーム画面→[ツール]→[赤外線]**
 - | | |
|-------------------|---------------------------------------|
| 2 プロフィール送信 | プロフィールをvCardファイルにして送信します。 |
| 連絡先送信 | 連絡先一覧画面が表示されます。連絡先をvCardファイルにして送信します。 |
| 写真/動画送信 | 写真/動画、Filesで各種ファイルを選択して送信します。 |
- 「連絡先送信」/「写真/動画送信」を選択した場合
- 3 送信するデータを選択→[OK]**
認証コードの入力画面が表示された場合は、認証コード(4桁)を入力→[OK]と操作してください。
・Filesからのデータ送信の場合は、「OK」をタップする操作は不要です。

各機能のメニューから赤外線送信する

電話帳の連絡先やプロフィール(vCardファイル)、各種データを1件送信することができます。

例:連絡先を送信する場合

- 1 送信する連絡先の詳細表示画面→[メニュー]→[共有]**
- 2 [赤外線]**

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能について

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®機器とワイヤレス接続できる技術です。Bluetooth®機器と通信するには、Bluetooth®機能をオンにする必要があります。また、必要に応じて本製品とBluetooth®機器のペアリング(登録)を行ってください。



memo

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。従って、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
- ◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Bluetooth®機能をオンにする

本製品でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機能をオンに設定します。
他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。
・他のBluetooth®機器からの接続を受けるには、本製品をあらかじめ他の機器から検出可能に設定しておく必要があります(▶P.58)。

- 1 ホーム画面→[設定]→[その他]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[Bluetooth]**
Bluetooth®設定画面が表示されます。

- 2 「ON」にする**



memo

- ◎ Bluetooth®機能のオン/オフ設定は、電源を切っても変更されません。
- ◎ Bluetooth®機能は本製品の電源を切った状態では利用できません。
- ◎ Bluetooth®機能をオンにすると、電池の消耗が早くなります。使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。

Bluetooth®機器を登録する

本製品と他のBluetooth®機器を接続するには、あらかじめペアリング(登録)を行います。
・機器によって、ペアリングのみ行う場合と、続けて接続まで行う場合があります。

- 1 Bluetooth®画面→「ON」にする**
- 2 [新しいデバイスとペア設定する]**
検出されたBluetooth®デバイス名が一覧表示されます。
- 3 ペアリングを行うBluetooth®デバイス名を選択**
- 4 画面の指示に従って操作**
ペア設定コード入力画面が表示されたときは、本製品とBluetooth®機器で同じペア設定コード(4~16桁の数字)を入力します。



memo

- ◎ Bluetooth®機器との接続中には、他のBluetooth®機器を登録できない場合があります。
- ◎ ペアリングを行うデバイス側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。

■ ペア設定コードについて

ペア設定コードは、Bluetooth®機器どうしが初めて通信するとき、お互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。本製品では、4~16桁の数字を入力できます。



memo

- ◎ ペア設定コード入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
- ◎ 接続する機器によっては、毎回ペア設定コードの入力が必要な場合があります。

■ 他のBluetooth®機器から検出可能にする

- 1 Bluetooth®設定画面→「ON」にする**
- 2 [新しいデバイスとペア設定する]**
・他のBluetooth®機器から検出可能になります。

■ 他のBluetooth®機器からペアリング要求を受けた場合

ペアリングを要求された場合は、必要に応じて「ペアに設定して接続」または「ペア設定する」をタップするか、ペア設定コードを入力してBluetooth®機器を認証します。

Bluetooth® 機器の接続を解除する

- 1 ホーム画面→[設定]→[その他]→[接続済みのデバイス]→[すべて表示]
- 2 接続を解除するBluetooth®デバイス名の「設定」をタップ→[削除]→[ペア解除する]

Bluetooth® 機能でデータを送受信する

あらかじめ本製品のBluetooth®機能をオンにしてください。

Bluetooth® 機能でデータを送信する

連絡先、静止画、動画、音楽などのファイルを、他のBluetooth®機器に送信できます。
・送信は各アプリの「メニュー」などから行ってください。

Bluetooth® 機能でデータを受信する

- 1 他のBluetooth®機器からデータ送信
ステータスバーに「」が表示されます。
- 2 ステータスバーを下にスライド
- 3 「着信ファイル」の「承諾」
ステータスバーに「」が表示され、データの受信が開始されます。
通知パネルのお知らせで受信状態を確認できます。

無線LAN(Wi-Fi®) 機能

無線LAN(Wi-Fi®) 機能について

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。



memo

- ◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN(Wi-Fi®)親機(Wi-Fi®ネットワーク)をご用意ください。
- ◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi®ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。
公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- ◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に進入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fi® 機能をオンにする

Wi-Fi®機能を使用するには、Wi-Fi®機能をオンにしてから利用可能なWi-Fi®ネットワークを検索して接続します。

- 1 ホーム画面→[設定]→[Wi-Fi]→「ON」にする
Wi-Fi®機能が起動し、利用可能なWi-Fi®ネットワークがスキャンされます。
Wi-Fi®機能がオンになるまで、時間がかかる場合があります。

memo

- ◎ Wi-Fi®機能がオンのときでもデータ通信を利用できます。ただしWi-Fi®ネットワーク接続中は、Wi-Fi®機能が優先されます。
- ◎ Wi-Fi®ネットワークが切断されると、自動的にデータ通信に切り替わります。
- ◎ Wi-Fi®機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。
Wi-Fi®ネットワークの電波強度は、本製品をお使いの位置によって異なります。
Wi-Fi®ルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

Wi-Fi® ネットワークに接続する

- 1 ホーム画面→[設定]→[Wi-Fi]→「ON」にする
Wi-Fi設定画面が表示され、利用可能なWi-Fi®ネットワークが一覧表示されます。
- 2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択→[接続]
 - ・セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)*を入力し、「接続」をタップします。
*パスワード(セキュリティキー)は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
 - ・接続が完了すると、ステータスバーに「」が表示されます。

memo

- ◎ Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをタップすると、ネットワーク情報の詳細が表示されます。
- ◎ お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用にならない場合があります。

Wi-Fi® ネットワークを手動で追加する

- 1 Wi-Fi設定画面→[ネットワークを追加]
- 2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワークSSIDを入力
- 3 セキュリティを選択
必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。
- 4 [保存]

memo

- ◎ 手動でWi-Fi®ネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

Wi-Fi® 機能を切断する

- 1 Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークを選択
- 2 [削除]

memo

- ◎ Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークをロングタッチ→[削除]と操作しても、接続を切断できます。
- ◎ 切断すると、再接続のときにパスワード(セキュリティキー)の入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi® 機能の詳細設定をする

- 1 Wi-Fi設定画面→[Wi-Fi設定]
- 2 必要な項目を設定

Wi-Fiを自動的にONにする	保存済みのネットワークの検出時にWi-Fi®をONにするかどうかを設定します。
オープンネットワークの通知	公衆通信回線が利用可能ときに通知するかどうかを設定します。
証明書のインストール	Wi-Fi®認証用の証明書をインストールします。
ネットワーク評価プロバイダ	ネットワーク評価プロバイダを「なし」「Google」から選択します。
Wi-Fi Direct	▶P.60「Wi-Fi Direct®を設定する」
MACアドレス	本製品のMACアドレスが表示されます。
IPアドレス	IPアドレスが表示されます。

Wi-Fi Direct[®]を設定する

Wi-Fi Direct[®]対応デバイスどうしを接続するように設定できます。

1 Wi-Fi設定画面→[Wi-Fi設定]→[Wi-Fi Direct]

デバイス一覧画面が表示されます。

- 接続要求を出す場合は、デバイス一覧画面から接続先を選択し、画面の指示に従って操作します。接続を切断する場合は、接続済みのデバイスをタップして切断します。
- [メニュー]→[デバイスの検索]と操作すると、デバイス一覧を更新できます。
- [メニュー]→[デバイス名を変更]と操作すると、デバイス側で表示される本製品の名前を変更できます。

テザリング機能

テザリングについて

テザリングとは、本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続することができる機能です。無線LAN(Wi-Fi[®])機器を最大10台まで接続したり、USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと本製品を接続したり、Bluetooth[®]機器を最大4台まで接続して、インターネットに接続することもできます。



memo

◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

USBテザリング機能を利用する

1 ホーム画面→[設定]→[その他]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]

2 USB テザリング	USB経由でテザリングします。 あらかじめ「USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと接続する」(▶P.55)を参照してパソコンと接続してください。
-------------	---

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。

「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。



memo

◎ USBテザリング機能をオフにする場合は、操作2で「USBテザリング」を再度タップして「OFF」にするか、USB Type-Cケーブル(市販品)を抜いてください。

Wi-Fi[®]テザリング機能を利用する

1 ホーム画面→[設定]→[その他]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]

2 Wi-Fiテザリング	本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続します。
--------------	------------------------------------

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。

「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。

Bluetooth[®]テザリング機能を利用する

1 ホーム画面→[設定]→[その他]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]

2 Bluetooth テザリング	本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続します。
-------------------	------------------------------------

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。

「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。

機能設定	62
その他の設定メニューを表示する	62
設定メニューを表示する	62
ネットワークとインターネットの設定をする	62
接続済みのデバイスの設定をする	63
アプリと通知の設定をする	63
電池使用量を表示する	63
画面の設定をする	63
スタート画面の設定を行う	63
音の設定をする	64
ストレージに関する設定をする	64
位置情報の設定をする	64
セキュリティの設定をする	64
アカウントの設定をする	65
ユーザー補助の設定をする	65
Google	65
システムの設定をする	65
端末情報に関する設定をする	66

機能設定

その他の設定メニューを表示する

その他の設定メニューから各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズや、セキュリティの設定、データの初期化などを行うことができます。

1 ホーム画面→[設定]→[その他]

その他の設定メニューが表示されます。

■ その他の設定メニュー項目一覧

項目	設定内容	参照先
設定メニュー	IDの設定や■が提供するサービスの設定、利用ができます。	P.62
プロフィール	プロフィールの表示や登録を行います。	P.32
ネットワークとインターネット	Wi-Fi®や機内モード、テザリングなどネットワークについて設定します。	P.62
接続済みのデバイス	Bluetooth®など本製品と接続する機器について設定します。	P.63
アプリと通知	アプリの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、有効／無効の設定、アンインストールなどアプリに関する設定や、通知のブロックやスタート画面に表示する通知など、通知に関する設定を行います。	P.63
電池	電池残量や使用量を表示します。また、バッテリーセーバーなどの設定ができます。	P.63
ディスプレイ	明るさや壁紙、画面の向き、フォントなど、画面表示に関する設定を行います。	P.63
音	マナーモードやバイブレータ(振動)、着信音、通知音、操作音など、音に関する設定を行います。	P.64
ダイレクトボタン	ダイレクトボタンにアプリを設定します。	P.25
ストレージ	本製品本体内やmicroSDメモリーカードのメモリ容量の確認、microSDメモリーカードの初期化を行います。	P.55
セキュリティ	セキュリティの設定を行います。	P.64
アカウント	オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。	P.65
ユーザー補助	ユーザー補助サービスの設定を行います。	P.65
Digital Wellbeingと保護者による使用制限	本製品の使用状況を1日単位で確認できます。 ・ロックを解除した回数や受信した通知の件数を表示したり、アプリごとにタイマーを設定できるなど、本製品の使いすぎを抑制します。	—
Google	Googleのアカウントおよびサービスに関する情報の確認や設定の変更などができます。	P.65
プライバシー	権限やアカウント アクティビティなど、プライバシーに関する設定を行います。	—
位置情報	無線LAN(Wi-Fi®)機能やGPS機能などを使った位置情報に関する設定を行います。	P.64
システム	表示言語の設定や日付・時刻の設定、データのバックアップや復元、初期化などを行います。	P.65
デバイス情報	本製品のバージョンなどの情報を確認します。	P.66
認証情報	認証情報を表示します。	—

設定メニューを表示する

■の各種サービスを設定したり、データ移行などのサービスを利用したりできます。

1 その他の設定メニュー→[設定メニュー]

設定メニューが表示されます。

- ・「■サポート」をタップすると、サポートのサイトに接続したり、お客さまセンターへ電話発信したりすることができます。

2	■ ID	▶P.20「■ IDを設定する」
	■ 初期設定	以前にご利用のアプリのダウンロードや、auの便利な機能の設定など、本機種のご利用を始められる際の設定をサポートするアプリです。
	おすすめアプリ一覧	おすすめアプリのダウンロードや、インストール済みのアプリの確認、アンインストールを行うことができます。
	■ 位置情報サービス	■から位置情報に関するサービスを提供する際に、他のアプリと連携して使用されるアプリです。
	■ Wi-Fi接続ツール	■の公衆無線LANサービス「■ Wi-Fi SPOT」や■の宅内Wi-Fi®機器サービス「Wi-Fi HOME SPOT」を便利にご利用いただくためのアプリです。
	パーソナル・スクリーン	スマートフォンの使い方に応じて、様々な提案やサポートを行うアプリです。
	データを移行する	スマートフォンで撮影した写真や連絡先など、さまざまなデータを■サーバーに預けたり、microSDメモリーカードへのバックアップやスマートフォンへの復元をしたりすることができます。また機種変更時のデータ移行にもご利用できます。
	コミュニケーションが遠隔操作でサポート	「スマートフォン」「タブレット」「携帯電話」などの操作で困ったとき、お客様の端末の画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。
	■災害対策・緊急速報メール	緊急速報メール(緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報)の受信設定や受信音の音量など、受信に関する設定ができます。
	データお預かり設定	自動で預けるデータの種類を設定したり、自動お預かり設定の詳細を確認したりできます。
	■通信品質レポート機能	さらなる通信品質向上のため、音声通話やデータ通信時などにおける品質、電波状況および発生場所(GPS位置情報)を検知・収集し、■に自動送信する機能です。
	セルフケア設定	■が提供する「セルフケア」サービス®の機能を提供するアプリです。 ※ Wi-Fi設定やBluetooth設定などお客様の端末設定を支援するサービスです。

ネットワークとインターネットの設定をする

Wi-Fi®やホームネットワークの設定など、通信に関する設定を行います。

1 その他の設定メニュー→[ネットワークとインターネット]

ネットワークとインターネットメニューが表示されます。

2	Wi-Fi	▶P.59「無線LAN(Wi-Fi®)機能」
	モバイルネットワーク	モバイルネットワークの詳細な設定を行うことができます。 ・海外ローミングと通信事業者の設定については、「海外利用に関する設定を行う」(▶P.76)をご参照ください。 ・アクセスポイント名の設定については、「データ通信を利用する」(▶P.40)をご参照ください。
	データ使用量	モバイルデータ通信の設定や、データサーバーの設定、通信量の確認などを行います。 ・データサーバーを「ON」にすると、一部のアプリによるバックグラウンドでの送受信を停止することで、データ使用量を抑制します。 ・「Wi-Fiデータ使用量」をタップすると、Wi-Fi®使用量画面が表示され、データ使用量を確認できます。
	テザリング	▶P.60「テザリング機能」
	機内モード	▶P.63「機内モードを設定する」
	VPN	▶P.63「VPNを設定する」
	プライベートDNS	セキュリティとプライバシーの保護のため、プライベートDNSを切り替えることができます。



memo

◎ 「データ使用量」の「モバイルデータ」をオフにするとデータ通信が無効になり、4G(LTE/WiMAX 2+)通信でのデータ通信ができなくなります。

機内モードを設定する

機内モードをオンに設定すると、ワイヤレス機能(電話、データ通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能)がすべてオフになります。

1 ネットワークとインターネットメニュー→「機内モード」を「ON」にする

機内モードがオンに設定されると、ステータスバーに「機内モード」が表示されます。



- ◎ 機内モードがオンの場合でも無線LAN(Wi-Fi®)/Bluetooth®機能をオンにすることができます。航空機内や病院などご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。
- ◎ 機内モードをオンに設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的に機内モードはオフに設定されます。
- ◎ 機内モードをオンに設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能による通信などもオフになります。

VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク(VPN:Virtual Private Network)は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

本製品からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

・本製品は以下の種類のVPNに対応しています。

- PPTP
- L2TP/IPSec PSK
- L2TP/IPSec RSA
- IPSec Xauth PSK
- IPSec Xauth RSA
- IPSec Hybrid RSA

VPNを追加する

1 ネットワークとインターネットメニュー→[VPN]

VPN画面が表示されます。

- ・初回起動時など、セキュリティの設定が必要な場合は画面の指示に従って設定してください。

2 [追加]

3 VPN設定の各項目を設定→[保存]

VPN画面のリストに、新しいVPNが追加されます。



- ◎ 追加したVPNは編集したり、削除したりできます。編集するには、変更するVPNの「設定」をタップ→必要に応じてVPNの設定を変更→[保存]と操作します。削除するには、削除するVPNの「設定」をタップ→[削除]と操作します。

VPNに接続する

1 ネットワークとインターネットメニュー→[VPN]

VPN画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力→[接続]

VPNに接続すると、ステータスバーに「VPN」が表示されます。

VPNを切断する

1 ネットワークとインターネットメニュー→[VPN]

VPN画面が表示されます。

2 接続中のVPNをタップ→[接続を解除]

接続済みのデバイスの設定をする

1 その他の設定メニュー→[接続済みのデバイス]

接続済みのデバイスメニューが表示されます。

2

USB	USBケーブルでパソコンに接続しているときの動作を設定します。 • 本製品をUSBケーブルでパソコンに接続しているときに表示されます。	
新しいデバイスとペア設定する	▶P.58「Bluetooth®機器を登録する」	
以前接続されていたデバイス	以前ペアリングを行ったデバイス名が表示されます。	
接続の設定	Bluetooth	▶P.58「Bluetooth®機能」
	キャスト	Miracast等の機器と接続し、他のデバイスと画面や音を共有します。
	印刷	▶P.63「印刷に関する設定をする」
	Bluetoothで受信したファイル	Bluetooth®機能で受信したファイルを確認します。
	Chromebook	Chromebookと接続します。

印刷に関する設定をする

Googleクラウドプリントを利用したプリンタの設定を行います。

- ・印刷の利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。

1 接続済みのデバイスメニュー→[接続の設定]→[印刷]

- ・「サービスを追加」をタップして、Google Playからプリンタを追加してください。

アプリと通知の設定をする

アプリごとに通知や権限、デフォルトアプリの設定などを行います。

1 その他の設定メニュー→[アプリと通知]

アプリと通知メニューが表示されます。

2	最近開いたアプリ	選択したアプリの詳細画面*が表示され、アプリのアンインストールなどができます。 ・Google Playなどからインストールしたアプリを選択すると「アンインストール」が表示されます。アンインストールを実行するとアプリは削除されます。 ・アプリによっては削除できないものもあります。 ・「XX個のアプリをすべて表示」をタップすると、本製品にインストールされているすべてのアプリを表示できます。
	通知	アプリの通知をスタート画面に表示するかどうかを設定したり、通知音やマナーモード中の動作などを設定したりします。
	利用時間	本製品の利用時間や、アプリの利用時間を表示します。
	デフォルトアプリ	デフォルトで使用するブラウザアプリやホームアプリ、電話アプリ、SMSアプリなどを設定します。
	権限マネージャ	▶P.13「アプリの権限を設定する」
	緊急速報メール	緊急速報メールの履歴を確認したり、緊急速報メールの設定を行うことができます。
	特別なアプリアクセス	本製品の機能や情報にアクセスするアプリの設定を確認/変更します。 ・「通知へのアクセス」をタップすると、ホーム画面の通知(バッジ)を表示するかどうかを設定できます。

電池使用量を表示する

1 その他の設定メニュー→[電池]

電池残量や充電状況、電池使用時間などが表示されます。

画面の設定をする

画面の明るさの設定や文字フォントの切り替えなど、表示に関する設定を行います。

1 その他の設定メニュー→[ディスプレイ]

ディスプレイ設定メニューが表示されます。

2	明るさのレベル	画面の明るさを設定します。
	明るさの自動調整	周囲の明るさに合わせて、画面の明るさを自動調整するかどうかを設定します。
	夜間モード	画面が黄味がかかった色になり、薄明かりの下でも画面が見やすくなります。「スケジュール」をタップして、使用する時間を設定します。
	壁紙	ホーム画面とスタート画面の壁紙を設定します。
	画面消灯	スリープモードへ移行するまでの時間を設定します。
	画面の自動回転	▶P.22「縦/横画面表示を切り替える」
	フォントサイズ	画面に表示されるフォントサイズを設定します。
	スクリーンセーバー	▶P.63「スクリーンセーバーを設定する」
	スタート画面	▶P.63「スタート画面の設定を行う」
	通知パネルの並べ替え	通知パネルのON/OFF設定エリアを編集します。

スクリーンセーバーを設定する

1 ディスプレイ設定メニュー→[スクリーンセーバー]→「ON」にする

2 スクリーンセーバーの種類を選択

「いますぐ起動」をタップすると、選択したスクリーンセーバーが起動します。

スタート画面の設定を行う

1 ディスプレイ設定メニュー→[スタート画面]

2	時計表示	スタート画面に時計を表示するかどうかを設定します。
	スタート画面の通知	スタート画面に表示する通知を設定します。
	スタート画面メッセージ	スタート画面に表示するメッセージを設定します。

音の設定をする

マナーモードの設定や着信音など、音やバイブレーションに関する設定を行います。

1 その他の設定メニュー→[音]

音設定メニューが表示されます。

2	メディアの音量	▶P.64「各種音量を調節する」
	通話の音量	
	着信・通知音の音量	
	アラームの音量	
	マナーモード	▶P.24「マナーモードを設定する」
	マナーモードのショートカット設定	☑(電源ボタン)と☑(音量上ボタン)を同時に押して、マナーモード(バイブレーション/ミュート/ドライブ)を設定するように設定できます。
	おうちモード	▶P.19「おうちモードを利用する」
	着信音	着信音に設定するデータを選択して登録します。
	バイブパターン	マナーモード時などのバイブレーションのパターンを選択します。
	バイブレーションの強さ	着信時や通知時、タップ操作時のバイブレーションの強さを設定します。
	デフォルトの通知音	通知音に設定するデータを選択して登録します。
	デフォルトのアラーム音	アラーム音に設定するデータを選択して登録します。
	ダイヤルパッドの操作音	タッチ操作音や充電開始音などの設定をします。
	スタート画面音	
	充電開始音とバイブレーション	
	充電完了音とバイブレーション	
	タッチ操作音	
	高度な通知管理	着信音やバイブレーションなどの、高度な通知管理を設定します。

各種音量を調節する

1 音設定メニュー→スライダを左右にドラッグして、音量を調節



- ◎ マナーモード設定時に、「着信音・通知の音量」の音量を上げるとマナーモードは解除されます。「着信音・通知の音量」の音量を0にすると、マナーモードが設定されます。
- ◎ 「着信音・通知の音量」の音量を0にすると、タッチ操作音やキー操作音もオフになります。

ストレージに関する設定をする

1 その他の設定メニュー→[ストレージ]

2	内部共有ストレージ	内部ストレージの使用量と合計容量を確認できます。 ・項目をタップすると項目ごとのデータの使用量を確認できます。
	SDカード	microSDメモ리카ードの使用量と合計容量を確認できます。 ・microSDメモ리카ードを内部ストレージとして使用することができます(▶P.54)。 ・「取り外し」をタップすると、認識を解除してmicroSDメモ리카ードを安全に取り外しできます。 ・microSDメモ리카ードが認識されていない時に[SDカード]→[マウント]→[OK]と操作すると、microSDメモ리카ードを認識します。

※ 表示される項目は、端末の状態によって異なります。



- ◎ 内部共有ストレージの各項目(アプリ、画像、動画など)をタップすると、各項目のアプリを起動できます。
- ◎ microSDメモ리카ードを認識しているときに、「SDカード」をタップすると、ファイルマネージャーが表示され、データの移動やコピーなどができます。

位置情報の設定をする

1 その他の設定メニュー→[位置情報]→[ON]にする

2	最近の位置情報リクエスト	位置情報を取得したアプリを表示します。 ・アプリをタップするとアプリ情報を表示します。
	アプリの権限	アプリごとに位置情報の使用を許可するかどうかを設定します。
	Wi-FiのスキャンとBluetoothのスキャン	位置情報の精度を向上させるため、Wi-Fi®やBluetooth®の電波をスキャンするかどうかを設定します。
	Google ロケーション履歴	Googleロケーション履歴などの設定を確認/変更したり、位置情報サービスの設定をしたりします。
	Google 位置情報の精度	
	Google 現在地の共有機能	
	位置情報サービス	
	緊急位置情報サービス	



memo

GPS機能の使用について

- ◎ 電池の消費を節約する場合は、オフにしてください。
- ◎ 周囲に建物などがなく、天空が見える場所では精度が高くなります。周囲の環境により、正しい位置情報が取得できない場合は、天空が見える場所へ移動してください。

セキュリティの設定をする

1 その他の設定メニュー→[セキュリティ]

セキュリティメニューが表示されます。

2	Google Play プロテクト	アプリや本製品に不正な動作がないかを定期的にチェックするかどうかを設定します。
	デバイスを探す	端末の現在地をリモートで探すかどうかを設定します。
	セキュリティアップデート	セキュリティのアップデートを行います。
	Google Play システム アップデート	アップデートの確認、更新を行います。
	セキュリティの種類	なし セキュリティを無効にし、スタート画面を非表示にします。 スワイプ セキュリティを無効にし、スワイプ操作で解除するスタート画面を表示します。 パターン スタート画面表示後、解除パターンを入力して解除するセキュリティを設定します。通知表示の設定もできます。 ロックNo. スタート画面表示後、ロックNo.を入力して解除するセキュリティを設定します。通知表示の設定もできます。 パスワード スタート画面表示後、パスワードを入力して解除するセキュリティを設定します。通知表示の設定もできます。
	Smart Lock	信頼できる端末や場所の登録、または顔認証でセキュリティを自動的に解除する[Smart Lock]を設定します。
	デバイス管理アプリ	端末管理アプリを表示または無効にします。
	SIMカードロック	▶P.64「SIMカードロックを設定する」
	暗号化と認証情報	端末のデータを保護するため、本製品内部に保存されているシステムデータはお買い上げ時に暗号化されています。
	信頼エージェント	信頼できるエージェント(Smart Lockなどの機能)を管理します。
	画面の固定	特定のアプリの画面を固定して表示するように設定します(▶P.24)。 ・「画面の固定」をオンにすると画面固定の解除後に、スタート画面を表示するかどうかを設定できます。



memo

- ◎ Smart Lock機能を利用する場合は、あらかじめセキュリティの種類を「パターン」/「ロックNo.」/「パスワード」に設定してください。

SIMカードロックを設定する

SIMカードにPINコード(暗証番号)を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」(▶P.12)をご参照ください。

1 セキュリティメニュー→[SIMカードロック]→[SIMカードをロック]を「ON」にする

2 SIMカードのPINコードを入力→[OK]

■ 電源を入れたときにPINコードを入力する

1 PINコードの入力画面→PINコードを入力→[OK]

■ PINコードを変更する

SIMカードロックが有効に設定されているときのみ変更できます。

- 1 セキュリティメニュー→[SIMカードロック]→[SIM PINの変更]
- 2 現在のPINコードを入力→[OK]
- 3 新しいPINコードを入力→[OK]
- 4 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

アカウントの設定をする

本製品とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

・同期するには、本製品でGoogleアカウントなどのオンラインサービスのアカウントを設定する必要があります。手動で同期するか、または自動同期するように設定できます。

- 1 その他の設定メニュー→[アカウント]
アカウント設定メニューが表示されます。
- 2 同期の設定をするアカウントの種別をタップ→同期の設定をするアカウントを選択



◎ アカウント設定メニュー→[メニュー]→[データの自動同期]→[OK]と操作すると、自動同期のオン/オフを切り替えることができます。

アカウントを追加／削除する

■ アカウントを追加する

- 1 アカウント設定メニュー→[アカウントを追加]
- 2 追加するアカウントの種別を選択
- 3 画面の指示に従って操作

■ アカウントを削除する

- 1 アカウント設定メニュー→削除するアカウントの種別を選択→削除するアカウントを選択→[メニュー]
- 2 [アカウントを削除]→[アカウントを削除]



◎ 他のアプリで使用されているアカウントは削除できません。削除するには、「データの初期化」(▶P.66)が必要です。

ユーザー補助の設定をする

1 その他の設定メニュー→[ユーザー補助]

2	音量キーのショートカット	◀(音量上ボタン)と▶(音量下ボタン)を同時に3秒以上長く押して、ユーザー補助機能を起動するかどうかを設定します。
	TalkBack	画面上の項目を読み上げるように設定します。
	テキスト読み上げの設定	▶P.65「言語と入力に関する設定をする」
	フォントサイズ	文字サイズを変更します。
	拡大	すばやく3回タップする操作やボタンで拡大／縮小表示をするかどうかを設定します。
	色補正	画面の色を補正するように設定します。
	色反転	画面の色を反転表示するように設定します。
	アニメーションの削除	アニメーション表示を削除するかどうかを設定します。
	スイッチ アクセス	スイッチ アクセス機能を利用するように設定します。
	画面消灯中のボタン操作	ディスプレイ消灯時に、[音量]、[電源]、[ホーム]の操作を無効にするかどうかを設定します。
	電源ボタンで通話を終了	◻(電源ボタン)で通話を終了するかどうかを設定します。
	画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
	長押しする時間	ロングタッチの時間を設定します。
	操作までの時間(ユーザー補助タイムアウト)	操作が必要な、短い時間しか表示されないメッセージの表示時間を設定します。
	バイブレーションの強さ	着信時や通知時、タップ操作時のバイブレーションの強さを設定します。
	モノラル音声	音声をモノラルで再生するかどうかを設定します。
	オーディオバランス	オーディオの左右のバランスを設定します。
	字幕の設定	字幕表示に対応したアプリ使用時に、字幕を表示するかどうかを設定します。
	高コントラストテキスト	画面に表示されるテキストのコントラストを上げるかどうかを設定します。

Google

Googleのアカウントおよびサービスに関する情報の確認や設定の変更などができます。

・Google設定の詳細については、Google画面→[?]と操作してヘルプをご確認ください。

- 1 その他の設定メニュー→[Google]
Google画面が表示されます。

2 各項目を設定

システムの設定をする

- 1 その他の設定メニュー→[システム]
システムメニューが表示されます。

2	言語と入力	▶P.65「言語と入力に関する設定をする」
	操作	マナーモードのショートカット設定 ◻(電源ボタン)と◻(音量上ボタン)を同時に押して、マナーモード(バイブレーション/ミュート/ドライブ)を設定するように設定できます。
	日付と時刻	▶P.66「日付と時刻の設定をする」
	バックアップ	Googleドライブへのバックアップに関する設定をします。
	リセット オプション	Wi-Fi、モバイル、Bluetoothをリセット すべてのネットワークの設定をリセットします。 アプリの設定をリセット 無効化されているアプリや権限のすべての制限などがリセットされます。 すべてのデータを消去(出荷時リセット) ▶P.66「本製品を初期化する」
	システム アップデート	▶P.80「ソフトウェアを更新する」

言語と入力に関する設定をする

1 システムメニュー→[言語と入力]

2	言語	日本語と英語の表示を切り替えます。 ・起動中のアプリが終了する場合があります。
	現在のキーボード	現在使用しているキーボードを確認します。
	仮想キーボード	Google 音声入力 音声入力の言語や不適切な語句に関する設定をします。 iWnn IME ▶P.27「iWnn IMEの各種設定を行う」 キーボードを管理 キーボードの一覧の表示を管理します。
	物理キーボード	仮想キーボード表示 物理キーボードが有効になっていても、画面上の仮想キーボードを表示するかどうかを設定します。 キーボードショートカットヘルパー 物理キーボードで使用可能なショートカットを表示します。
	スเปルチェック	スペルチェッカーを使用するかどうかを設定します。 ・対応するキーボードアプリをインストールすると利用できます。
	自動入力サービス	自動入力サービスを設定します。
	単語リスト	単語を登録できます。
	ポインタの速度	ポインティングデバイス使用時の、ポインタの反応速度を設定します。
	テキスト読み上げの設定	優先するエンジン テキストを読み上げる言語や、Google テキスト読み上げエンジンの設定ができます。 Google Playから標準装備以外の言語に対応した音声データをインストールすることもできます。 [?]をタップすると、言語の変更やGoogleテキスト読み上げエンジンの設定、音声データのインストールを行えます。 言語 テキストを読み上げる言語を設定します。 音声の速度 スライダを左右にドラッグして、音声の速度と音の高さを調節します。 音の高さ 音の高さで「再生」をタップすると再生します。

※ 表示される項目は、画面によって異なります。



◎ テキスト読み上げを利用する場合は、あらかじめ音声データのインストールが必要な場合があります。
◎ microSDメモリカードに音声データをインストールした状態で、ソフトウェアアップデートなどのソフトウェアの更新を実行すると、テキスト読み上げの動作が不安定になる場合があります。ソフトウェアの更新を実行した場合は、microSDメモリカードにインストールされている音声データを削除し、再度音声データのインストールを行ってください。

日付と時刻の設定をする

1 システムメニュー→[日付と時刻]

日付と時刻設定メニューが表示されます。

2	ネットワークの時刻を使用する	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って、自動的に補正するかどうかを設定します。
	日付	日付を自動で設定します。
	時刻	時刻を自動で設定します。
	ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って、自動的に補正するかどうかを設定します。
	タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。
	24時間表示を言語／地域から自動設定	時刻の表示形式を、言語／地域から自動設定するかどうかを設定します。
	24時間表示	設定すると24時間表示、解除すると12時間表示となります。 ※ アプリによっては、対応されない場合があります。



memo

- ◎ 「ネットワークの時刻を使用する」をオンにするとネットワークから日付や時刻が自動で設定されます。初期状態は「日付と時刻の自動設定」がオンに設定されています。
- ◎ 日付、時刻、タイムゾーンの手動設定をするには、あらかじめ「ネットワークの時刻を使用する」「ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する」をオフにする必要があります。
- ◎ 海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。システム設定メニュー→[日付と時刻]→[タイムゾーン]→[地域]→設定するタイムゾーンを選択、と操作して、タイムゾーンを設定することができます。

本製品を初期化する

1 システムメニュー→[リセット オプション]

2 [すべてのデータを消去(出荷時リセット)]→[すべてのデータを消去]→[すべてのデータを消去]

- ・スタート画面の設定によっては、セキュリティ解除が必要な場合があります。



memo

- ◎ データの初期化を実行すると本体内のすべてのデータが消去されます。データの初期化を実行する前に本体内のデータをバックアップすることをおすすめします。
- ◎ その他の設定メニューの以下の項目は、データの初期化を実行してもリセットされません。
 - ・SIMカードロック
- ◎ 本製品を初期化すると、デジタル著作権管理 (DRM) コンテンツのライセンス情報が削除され、コンテンツの再生ができなくなる場合があります。

端末情報に関する設定をする

本製品のバージョンなどの情報を確認します。

1 その他の設定メニュー→[デバイス情報]

2	デバイス名	端末名を変更できます。
	電話番号	電話番号を確認できます。
	救急あんしん情報	所有者の情報や緊急連絡先を確認できます。
	法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。
	SIMのステータス	SIMのステータスを確認できます。
	SIMカードの状態	SIMカードの状態を確認できます。
	モデルとハードウェア	バージョンや各番号を確認できます。
	IMEI	
	Androidバージョン	
	IPアドレス	
	Wi-Fi MACアドレス	
	Bluetoothアドレス	
	稼働時間	
	ビルド番号	
	使用状況に関するデータ利用	京セラ及び京セラから委託を受けたものによる使用状況に関するデータの利用を許可するかどうかを設定します。

■ ネットワーク

■ のネットワークサービス	68
■ のネットワークサービスについて	68
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)	68
着信転送サービスを利用する(標準サービス)	68
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)	69
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)	69
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)	69
三者通話サービスを利用する(オプションサービス)	72
割込通話サービスを利用する(オプションサービス)	72
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)	73

のネットワークサービス

のネットワークサービスについて

では、次のような便利なサービスを提供しています。

	サービス	参照先
標準サービス	＋メッセージ(SMS)	P.37
	着信お知らせサービス	P.68
	着信転送サービス	P.68
	発信番号表示サービス	P.69
	番号通知リクエストサービス	P.69
有料オプションサービス*	お留守番サービスEX	P.69
	三者通話サービス	P.72
	割込通話サービス	P.72
	通話明細分計サービス	P.73

※ 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、ショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)

着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、電波の届かない場所にいた場合など、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。



memo

- ◎ 「着信お知らせサービス」を利用するには、お留守番サービスEXの圏外転送を設定してください(▶P.70)。
※ 有料オプションサービスにご契約されていない場合も設定を行ってください。
- ◎ 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
- ◎ お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
- ◎ 着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
- ◎ ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.70)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
- ◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を選択できます。



memo

- ◎ 緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
- ◎ 着信転送サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.69)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
- ◎ 国際電話サービスでの転送はご利用いただけません。また、一部の国際電話事業者でも転送できない場合があります。

ご利用料金について

月額使用料	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ※ 電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ※ お客様のご負担となります。 ※ 海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

- 1 ホーム画面→[電話]→[メニュー]→[通話設定]
- 2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番]→[無応答転送]→[無応答転送]
- 3 [転送]→[転送時間]→転送時間を設定→[OK]
 - ・転送時間は5秒～55秒の間で設定できます。
 - ・「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 4 [転送先番号]→転送先番号を入力→[登録]→[OK]



memo

- ◎ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

- 1 ホーム画面→[電話]→[メニュー]→[通話設定]
- 2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番]→[話中転送]→[話中転送]
- 3 [転送]→[転送先番号]→転送先番号を入力→[登録]→[OK]
 - ・「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。



memo

- ◎ 話中転送と割込通話サービス(▶P.72)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切つてあるときなどに電話を転送します。

- 1 ホーム画面→[電話]→[メニュー]→[通話設定]
- 2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番]→[圏外転送]→[圏外転送]
- 3 [転送]→[転送先番号]→転送先番号を入力→[登録]→[OK]
 - ・「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 1 ホーム画面→[電話]→[メニュー]→[通話設定]
- 2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番]→[フル転送]→[フル転送]
- 3 [転送]→[転送先番号]→転送先番号を入力→[登録]→[OK]
 - ・「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。



memo

- ◎ フル転送を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。